



福島県原水協 Fax ニュース

がんばっぺ
福島

2011年4月7日(木) 福島県原水協 福島市舟場町3-26 青年会館内 Tel. 024-522-6519

福島を汚した東電はあらゆる償いを果たせ！



▲右端(後ろ向き)が東電福島地域支援室渉外グループ課長の原氏

復興共同センターが東電福島地域支援室へ申し入れ

4月6日午後1:30 ふくしま復興共同センターの呼びかけで38名が福島市内にある東電福島地域支援室(東電福島事務所が今回の事件で改編)を訪れて申し入れを行い、今回の原発事故への怒りと不安を伝えました。

今回の事故が「人災」であることを認めること、すべての情報を公開すること、あらゆる被害・損害について全面的に保障・賠償することなどを求めました。

申し入れには「復興共同センター」が呼びかけた38名が参加。南相馬市の農家の方は、「この先もずっと農業をやっていききたい。土地を返してほしい！」と悲痛な思いを語りました。

増える風評被害に愕然

申し入れの際、各団体からの報告で、今回の原発事故により農家、酪農家、漁業関係者のみならず、業者にも風評被害が及んでいることが報告されました。割り箸やおしぼりを他県に納品している業者が、「福島の商品はいらない」と納品を断られたり、衣料メーカーも納品を断られるなど、「そこまでしなくても」と思う事例が報告されました。

責任者は福島に常駐すべき！

今回の申し入れには、東電側から1名(福島事務所の渉外課長)が対応。所長も本社の職員も出席しないことに全員がっかり。福島県民の声を聞く窓口は、福島に置くこと、責任者は福島に常駐すべきと訴えました。「責任者は安全な場所(東京)にだけいるのか」と怒りの声。

福島県原爆被害者協議会

から署名とカンパが届く！

福島県被爆協(福島県原爆被害者協議会)から、新署名70筆とカンパが届けられました。

地震、津波、原発事故と様々な出来事に遭遇し、忘れかけていた本来の活動を取り戻さなくては…。被爆協の皆さんに感謝申し上げます。

全国の原水協は、今、被災者支援と署名活動を合わせて街頭署名行動に取りくんでいます。日常



撮影：小川英雄さん(相馬市にて)

生活を取り戻すにはまだ時間が必要な地域もありますが、私たちもがんばっぺ！